

さわやか  
サークル

みずしろ  
水城少年野球

～抜群のチームワークで優勝～

毎週土・日曜日にグラウンドで夢中になって白球を追いかけているのが今回紹介する水城少年野球です。30年ほど前に発足し南小の児童が所属している同チームは現在、レギュラーチーム（6年生12人、5年生9人）とジュニアチーム（4年生以下18人）で構成されています。

同チームでは、大きな声でのあいさつや礼儀を重んじており、清掃活動などの社会奉仕にも積極的に取り組んでいます。地元ソフトボールチームにキャッチボールの相手をしてもらったり、練習場所を譲ってもらったりするなど、地域の方々の応援や協力に支えられて活動しています。

今年度は4月の第97回行田市少年野球春季大会、5月の第21回東松山野球スポーツ少年団交流大会のほか、8月に行われた第23回読売旗争奪東北少年野球選手権大会でも見事優勝。特に8月の大会では逆転勝ちを収める試合も多く、「あまり緊張しないこと」で、試合では実力以上の力を発揮できた「チームメイトを信じて戦ってくれた」と千代田豊監督が話すように、選手たちの最後まで諦めない強い精神力やチームワークが最大の勝因となったようです。同大会で得たのは優勝旗やメダルだけでなく、なんと東京ドームでの読売ジャイアンツ公式戦の始球式。プロ選手と一緒に各守備位置に就いた子供たちは「憧れの選手が話しかけてくれた」「プロが使ったグラウンドで投げることが出来

てうれしかった」などと、夢のような時間を過ごし興奮冷めやらぬ様子で話してくれました。

同チームは抜群のチームワークを武器にして、今シーズンもまだまだ続く大会に優勝目指して臨みます。

▼問い合わせ 千代田豊 ☎090-1118-7759



私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。  
◎俳句は毎月5日までにはがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

俳句

忍 伊藤 英子

焼夷弾降る音に聞く花火かな

中央 藤野 芳江

忘れ得ぬ娘の生れし日原爆忌

向町 佐藤 猶子

恙なき日々感謝し魂祭

谷郷 大谷 峯生

家族とは別れゆくもの流れ星

荒木 秋山 二郎

今生を泣きつくさんと秋の蝉

下中条 梶原 銃司

遠花火はかなき夢の開き散る

須加 矢沢 初枝

大玉の西瓜冷して孫を待つ

北河原 木島 徳哉

柿熟るる八十八歳静ころ

清水町 松岡 博

帰省子の去りて時間の戻りけり

門井町 森下さとし

思い馳す酷暑の中古墳群

棚田町 財津ミチエ

虫の音に故郷たぐる夜明かな

矢場 鈴木かつの

盆踊り抜け出て闇に抱かるる

下忍 阿部 義之

風鈴の音一つなし午後三時

荒木 藤田 栄之

裔のこし果つるる蝉の仰むきぬ

荒木 蛭間しげ子

夏帝の一期一会の茶会席

(木島 斗川 監修)



『富士』(油絵)  
矢島 慶子(南河原)